

授業科目名: 心理学(2)	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 2単位	担当教員名: 平 雅夫 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目(高等学校 公民)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1)社会心理学の社会の広範な領域と心理学の接点を理解できる (2)社会心理学の科学的な思考法を理解できる			
授業の概要 現代社会において、ネット上の問題などが発生するたびに、何らかの指標を持ってそれを理解したいと考える人はいないだろうか。おそらく、そうした動機に応えられるものが社会心理学である。社会心理学は、そうした動機に応えながら、個々の人間の認知過程や脳科学等と連動する精緻な研究を取り上げる一方、「社会」「政治」「文化」「組織」といった社会科学にも研究分野を広げており、その領域は広範である。また、そうした広範な領域に対して、「心理学」である以上、人の「こころ」の動きの側面からの理解を求めているのである。この科目では、「人」と「環境(社会等)」とのかかわりに問題意識を持つ人も多いと思われるが、広範な領域ゆえに、容易な学修とはならないかもしれない。そうした広範囲の学修の中で、心理学の応用的な知識と思考法の習得を目指している。楽しみ(苦しみ)ながらも、意欲的に取り組んでほしい。			
授業計画 第1回 人の心は社会とどうつながりあうのか テキスト:序章 第2回 人や社会をとらえる心の仕組み テキスト:第1章 第3回 感じたことの影響過程 テキスト:第 2 章 第4回 心と行動をつなぐ非意識的・自動的過程 テキスト:第 3 章 第5回 自己 テキスト:第 4 章 第6回 他者に対する評価・判断・推論 テキスト:第 5 章 第7回 態度と態度変化 テキスト:第 6 章 第8回 対人関係 テキスト:第 7 章 第9回 集団の中の個人 テキスト:第 8 章 第10回 集団間関係 テキスト:第 9 章 第11回 コミュニケーション テキスト:第10章 第12回 マスメディアとソーシャルネットワーク テキスト:第11章・第12章 第13回 社会参加と世論・行動 テキスト:第13章・第14章・第15章 第14回 組織と個人 テキスト:第16章・第17章 第15回 こころと文化 テキスト:第18章・第19章 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 池田謙一 唐沢稜 工藤恵理子 村本由紀子、(2010)、『社会心理学 補訂版』、有斐閣 ISBN 978-4-641-05387-8			
参考書・参考資料等 諸富祥彦、(2022)、『カウンセリングの理論(上)』、誠信書房、ISBN 978-4-414-40378-7 諸富祥彦、(2022)、『カウンセリングの理論(下)』、誠信書房、ISBN 978-4-414-40379-4 鹿取廣人 杉本敏夫 鳥居修晃 河内十郎、(1996)、『心理学 第5版 補訂版』、東京大学出版会、ISBN 978-4-13-012117-0			
学生に対する評価 レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			